

2023 年度 環境活動レポート

(対象期間：2023 年 10 月 1 日～2024 年 9 月 30 日)



株式会社 横山建設工業

発行日：2025 年 2 月 10 日

1. 取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者氏名

株式会社 横山建設工業

代表取締役 社長 横山 欣吾

(2) 所在地

本社・工場：兵庫県加東市東実 105-260

加西営業所：兵庫県加西市青野町 408

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 代表取締役 社長 横山 欣吾

環境管理担当者 建築部 小林 千紘

連絡先：TEL 0795-42-3854

FAX 0795-42-4853

(4) 事業活動内容：建築用鉄骨加工及び建設業(土木工事業・建築工事業)

(5) 事業規模

年間売上高 1907 百万円 (2023/10～2024/9)

	本社・工場	合計
総従業員 2023.9.30 現在	57 人	57 人
延べ床面積	5620 m ²	5620 m ²
敷地面積	11,219 m ²	11,219 m ²

(6) 建設現場等の概要 (2023/10～2024/9)

元請工事 7 件

(7) 事業年度 10 月～翌年 9 月

2. 認証・登録範囲

(1) 事業所名

株式会社 横山建設工業

本社・工場

(2) 活動

建築用鉄骨加工及び建設業 (土木工事業・建築工事業)

2. 主な環境負荷の実績

項目	単位	環境負荷の実績 (2021 年度)	環境負荷の実績 (2022 年度)	環境負荷の実績 (2023 年度)	主なもの
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	172,184	170,441	161,720	電力・ガソリン重機燃料
廃棄物排出量	トン	59.7	72.8	94.1	
一般廃棄物	トン	1.5	1.4	1.3	
産業廃棄物	トン	58.2	71.4	92.8	
総排水量	m ³	593	491	631	

電力の二酸化炭素排出係数 ; 0.334 kg-CO₂/ kWh (2018 年度関西電力調整後)

3. 環境経営方針

株式会社 横山建設工業 環境経営方針

株式会社横山建設工業は、当社の経営方針である『頑丈・清潔・安心なモノを提供し、社会の安定に貢献する』のもと、鉄工、建築、土木の工事において環境資源の有効活用と地域環境の保全活動に自主的・積極的に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量(電力・ガソリン・軽油)の削減に努めます。
3. 建築工事に伴う産業廃棄物及び一般廃棄物排出量の削減(リサイクル)に努めます。
4. 水資源を大切にし、使用量の削減に努めます。
5. 環境経営システムの継続的改善に努めます。
6. 環境に配慮した施工方法を積極的に採用するように努めます。
7. 全従業員にこの環境方針を周知します。
8. 重要事項は第2-4項に示す。
9. 化学物質は適正に管理します。

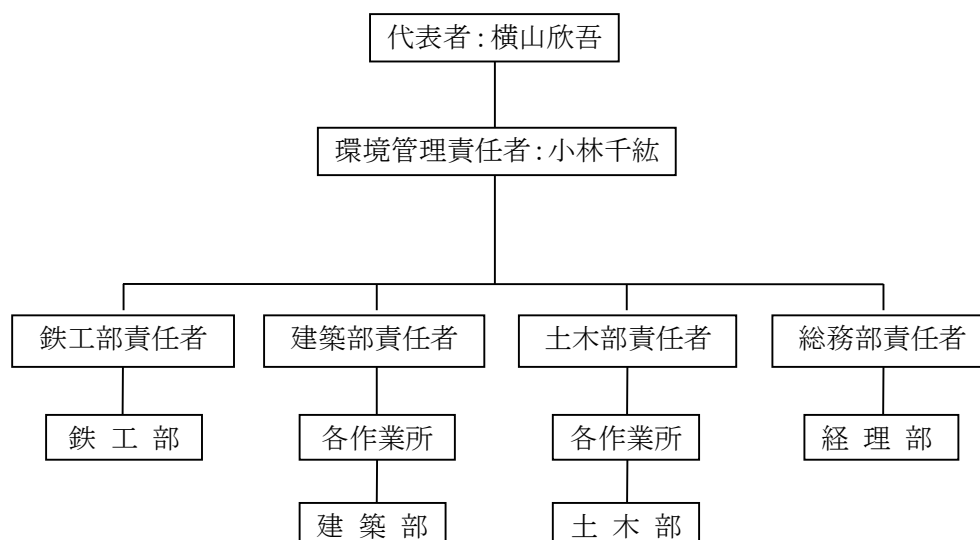
制定日：2018年5月1日

改定日：2021年4月1日

株式会社 横山建設工業
代表取締役 社長 横山欣吾

4. 推進組織図

【株式会社 横山建設工業 環境経営システム推進組織図】2025.2.10 現在



【認証登録範囲】

対象事業所 本社、工場

事業活動 建築用鉄骨加工及び建設工事業

5. 環境経営目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

	環境目標	基準年度 2016年度 実績	2023 年度			2024 年度 目標	2025 年度 目標	2026 年度 目標
			目標	実績	(達成率)			
1	二酸化炭素総 排出量の削減	195,586 (kg-CO ₂)	181,895 (kg-CO ₂) (△7%)	159,515 (kg-CO ₂) ※3	114%	179,939 (kg-CO ₂) (△8%)	177,983 (kg-CO ₂) (△9%)	176,027 (kg-CO ₂) (△10%)
2	電気使用量の 削減 (本社・建設 現場) ※1	457,020 (kWh)	425,028 (kWh)	360,423 (kWh)	117%	420,458 (kWh)	415,888 (kWh)	400,318 (kWh)
		152,644 (kg-CO ₂)	141,958 (kg-CO ₂) (△7%)	120,381 (kg-CO ₂)		140,432 (kg-CO ₂) (△8%)	138,906 (kg-CO ₂) (△9%)	137,379 (kg-CO ₂) (△10%)
3	ガソリン使用 量の削減	10,999 (リットル)	10,229 (リットル)	10,177 (リットル)	100%	10,119 (リットル)	10,009 (リットル)	9,8991 (リットル)
		25,518 (kg-CO ₂)	23,731 (kg-CO ₂) (△7%)	23,601 (kg-CO ₂)		23,477 (kg-CO ₂) (△8%)	23,221 (kg-CO ₂) (△9%)	22,966 (kg-CO ₂) (△10%)
4	軽油使用量の 削減	6,753 (リットル)	6,280 (リットル)	6,017 (リットル)	104%	6,212 (リットル)	6,145 (リットル)	6,077 (リットル)
		17,424 (kg-CO ₂)	16,204 (kg-CO ₂) (△7%)	15,523 (kg-CO ₂)		16,030 (kg-CO ₂) (△8%)	151,855 (kg-CO ₂) (△9%)	151,855 (kg-CO ₂) (△10%)
5	建設廃棄物 リサイクル率 の向上※2	69 (%)	75 (%)	66.9 (%)	89%	76 (%)	77 (%)	78 (%)
6	一般ごみの削 減	1499 (kg)	1349 (kg) (△10%)	1384 (kg)	97%	1334 (kg) (△11%)	1319 (kg) (△12%)	1349 (kg) (△11%)
7	水使用量の削 減	511 (m ³)	475 (m ³) (△7%)	631 (m ³)	75%	470 (m ³) (△8%)	465 (m ³) (△9%)	460 (m ³) (△10%)
8	低騒音型 及び排ガス抑 制対応型 重機の使用	70 (%)	70 (%)	81 (%)	75%	70 (%)	70 (%)	70 (%)
9	化学物質の削 減		適正管理	適正管理 の実施	-	適正管理	適正管理	適正管理

※1：電力の二酸化炭素排出係数：0.334 kg-CO₂/ kWh

※2：産業廃棄物のリサイクル率の向上；再生量(62.04 t)÷排出量(92.8 t)＝66.9%

※3：二酸化炭素排出量には、灯油分とLPG分が含まれておりません

6. 主要な環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

No.	環境目標 (環境方針との関連)	環境活動計画の概要	取組結果の評価 (2022/10～2023/9)		次年度の取組 内容
1	二酸化炭素総排出量の削減	・エコドライブ等運転方法を実施する。 ・不必要な場所の消灯	目標：181,895kg-CO ₂ 実績：159,515kg-CO ₂ 達成率：114% (○)	電気使用量、軽油、ガソリン、全てで目標値を達成できた。	目標は達成できたが、今後も気を緩めずに取り組んでいく。
2	電気使用量の削減 ※1	・不必要な場所の消灯 ・使用していない部屋の空調は停止する	目標：425,028kWh 実績：360,423kWh 達成率：117% (○)	節電の効果が十分に出ている。	節電を継続しつつLEDや、センサーによる点灯等を増やしていく。
3	ガソリン使用量の削減	・エコドライブ等運転方法の配所を施行する	目標：10,229リットル 実績：10,177リットル 達成率：100 % (○)	建築現場等の影響を受けやすいが、普段の意識は怠らないようにする。	無駄の無い走行、走行工程を考える。 停車中はエンジンを切る。
4	軽油使用量の削減	・エコドライブ等運転方法の配所を施行する	目標：6,280リットル 実績：6,017リットル 達成率：104 % (○)	建設現場等の影響を受けてしまうが引き続き努力していく。	無駄の無い走行、作業工程を考える。 停車中はエンジンを切る。
5	建設廃棄物リサイクル率の向上	・建設現場等で発生する建設副産物の再利用率向上のため工夫をする	目標：75 %以上 実績：66.9% 達成度：89% (×)	目標には届かなかったが、努力を続けていく。	継続して分別を行い、再資源化を進めていく。
6	一般ごみの削減	・使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用する	目標：1,349kg 実績：1,375kg 達成度：95% (×)	目標には届かなかったが、努力を続けていく。	裏紙使用、無駄な紙の廃止を行う。
7	水使用量の削減	・節水を意識し、水を流しっぱなしにしない	目標：475 m ³ 実績：631 m ³ 達成度：75% (×)	使用量が大幅に増加している。	業務に支障がない範囲で絶水できる箇所を探していく。
8	低騒音型及び排ガス抑制対応型重機の使用	低騒音型及び非排ガス抑制対応型重機を使用する	目標：70%以上 実績：75 % 達成度：107 % (○)	業者の協力もあり、目標を達成できた。	引き続き協力業者に該当する重機の使用を指示する
9	化学物質使用料の削減		達成度：(○)	実施計画通りに行われている	適正管理を継続していく

(注：○：目標達成、 ×：目標未達成)

7. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

順守評価日2022年9月30日

No.	適用される法律名	順守すべき内容	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬・処分業者との適正な契約 マニフェスト伝票の管理 (A. B2. D. E) 廃棄物置場の表示と保管基準の遵守	遵守 遵守 遵守
2	騒音規制法 兵庫県環境の保全と創造に関する条例	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (騒音) 85 dBの遵守	遵守 遵守
3	振動規制法 兵庫県環境の保全と創造に関する条例	特定建設作業の届出 敷地境界線での規制基準 (振動) 75 dBの遵守	遵守 遵守
4	建築基準法	ホルムアルデヒドに関する規制 (内装仕上、 換気設備の義務付け)	遵守
5	消防法	少量危険物及び指定可燃物の保管の届出 消火器の設置	遵守 遵守
6	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届出 再資源化の完了報告	遵守 遵守
7	フロン排出抑制法	エアコン用屋外機の自主点検(3 か月毎)及び記録の 保持	遵守
8	高圧ガス保安法	高圧ガス移動中に常備する資材・工具類の携行 及びイエローカードの携帯	遵守
9	自治体との災害時応援協定	災害発生時に応援派遣する	設備・体制 確認

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生していません。

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

全てが目標達成とはいかないものの日々の取組の効果は出ています。

感染症や異常気象、各現場の事情等の影響は受けてしまうが、SBTの所得などにより意識も高まっています。

今後も目標達成に向けて取り組んでいきたいと思います。

環境経営方針、環境経営方針、実施体制：変更なし

見直し年月日 2025年 1月 20日

代表取締役 社長 横山欣吾以上